

周防大島スカイカップ 2015大会要項

▽第26回パラグライディングカップ周防大島 ▽第31回ハンググライディングカップ周防大島

主 催	山口県ハング・パラグライディング連盟 周防大島スカイカップ実行委員会
後 援	周防大島町 周防大島町教育委員会 嵩山友の会 NPO 法人 高照寺山スカイセーリング
開 催 日	平成27年9月12日(土)～13日(日)

大会の目的

周防大島町では、若者が住みたくなる町・若者が集まる町を目指し、スポーツによる新たな地域づくりを推進しております。この大会は、話題性と共感性を併せ持つイベントとして行われ、全国の人々との交流が深められるとともに、島の魅力が広くアピールされ、交流人口の増加や人口定住の促進による地域活性化を図るものです。

○大会役員

大会会長 山野 亨 (山口県ハング・パラグライディング連盟会長)

○大会実行委員

実行委員長 岡部 英世 (NPO法人高照寺山スカイセーリング)

競技委員長 PG 江口 博昌 HG 大竹 直樹
ゼネラルマネージャ 内野位江、茅島 匡

第26回パラグライディングカップ周防大島
(山口県ハング・パラグライディング連盟大会)

★競技内容

部 門	競技内容	備 考
エキスパートクラス	パイロンレース、ターゲット (※気象条件により決定)	参加資格 NP 以上 GPS・デジタル簡易無線機 持参のこと

第31回ハンググライディングカップ周防大島
(山口県ハング・パラグライディング連盟大会)

★競技内容

部 門	競技内容	備 考
エキスパートクラス	パイロンレース、ターゲット (※気象条件により決定)	参加資格 C 以上 GPS・デジタル簡易無線機 持参のこと

開催場所 山口県大島郡周防大島町 嵩山フライトエリア
橋ウインドパーク

参加定員 ハングとパラ合計で 60 人

大会日程 平成 26 年 9 月 12 日 (土) ~ 13 日 (日)

9 月 12 日 (土) 8 : 3 0 受付
9 : 0 0 開会式、競技説明
1 0 : 3 0 競技開始
1 7 : 0 0 競技終了

9 月 13 日 (日) 9 : 0 0 受付
1 0 : 0 0 競技開始
1 5 : 0 0 競技終了
1 6 : 0 0 表彰、閉会式

参加資格 以下の全てを満たす者とする。

- ・ JHF フライヤー登録会員証が有効な者
- ・ JHF パラグライダー技能証 NP 級以上の所有者。(パラグライディングカップ)
- ・ JHF ハンググライダー技能証 C 級以上の所有者。(ハンググライディングカップ)
- ・ 適切な防護ヘルメットを着用のこと
- ・ 半年以内にリパックした JHF タグ付き緊急パラシュートを装備のこと
- ・ GPS・デジタル簡易無線機を装備のこと

賞典

エキスパートクラス 賞状及び副賞 (1 位 ~ 3 位)

※ 無線機は、デジタル簡易無線機を使用します。

※ 大会不成立の場合申込金はお返しできませんのでご了承下さい。

参加申込 当日エントリーとしますので、当日受付にて参加申込み書に記入し、エントリー費を支払ってください。

エントリー費 10,000 円
2日分の昼食代と山口県ハング・パラグライディング連盟が主催する交歓会の会費を含みます。交歓会は12日(土)午後6時30分から開催します。
交歓会の場所は、大会当日までに選手に通知します。なお、交歓会の場所で宿泊可とします。

問い合わせ先

周防大島スカイカップ実行委員会事務局

〒734-007

広島県広島市南区皆実町5丁目2-21-101

TEL 082-256-7226

振込先：山口銀行安下庄支店 普通 6046814

周防大島スカイカップ大会事務局

代表 田中^{ひろし}博之

主なルール

競技内容：サーキットパイロン

内容：

1. パイロン通過の確認
 - (ア) パイロン通過の確認は GPS を使用する。
 - (イ) パイロン範囲は半径 200m のシリンダーとする。
2. 得点計算
 - (ア) フライト得点の最も高い選手を優勝とする。
 - (イ) フライト得点は、原則として次の規定に従って計算するものとする。
 - ① ハングライダー：ハンググライディングシリーズ競技規定
 - ② パラグライダー：2014 パラグライディングジャパンリーグ規定
3. アウトサイドランディング
 - (ア) 原則として橋ウィンドパークの敷地外にランディングした場合はアウトサイドランディングとし、そのフライトを失格とする。
 - (イ) パラグライダーに限り、安下庄中学校へのランディングを認め、そのフライトの得点の 50% を与える。
4. セットアップ場所
 - (ア) 初日はエントリー順とし、エントリー日が同一の選手はくじ引きにより決定する。
(ただし 60 歳以上の選手のシニアゾーンは除く。)
 - (イ) 2 日目は初日の成績順とする。2 日目のシニアゾーンは選手間協議で決定する。
5. テイクオフについて
 - (ア) フリーテイクオフとする。
 - (イ) パラグライダーのテイクオフにおいて失敗した場合は列の最後尾にまわる。ただし、条件によりテイクオフディレクターの指示に従うこととする。
6. 競技成立条件
 - (ア) 参加人数の 50% の選手がテイクオフした場合、競技成立とする。
7. 使用機体
 - 使用機体は大会開始後には変更できない。但し、競技委員長の許可を得た場合に限り、変更することができる。
8. 競技の中止
 - (ア) 一旦競技が開始されても気象条件の急変等、選手の安全が確保されない場合、その競技をキャンセルすることができる。
 - (イ) その場合フライト中の選手には無線機による連絡を行う。無線機により連絡を受けた選手は速やかに安全にランディングすること。